

# お客遊びの指導

瀬野 尾 秀 義

## (1) 取材の方針

子供には子供の生活があり、子供の世界がある。學校入學前より常に喜んで行はれるものは「まゝごと」「汽車ごっこ」「兵隊ごっこ」……等の遊びであつて、これらの遊びこそ幼児の生活全體であり、遊びを他にしては何物もないのである。

かくして生れてより遊びによつて生長して來、又入學當初の低學年では遊びに興味を持ち、之によつて伸びて行くのである。尋常小學國語讀本卷二にも「オキヤクアソビ」の文が出てゐます。文を讀ませるよりも先第一に實際にその遊びを實演し、體驗させることが何より大切なことであり又そうしてこそ子供の生活に即した生活をさせる事が出來、子供に喜びを感じしめることが出來るのである。

## (2) 動機の喚起

昨日の日曜日には先生は祖母さんの處へ遊びに行きました。丁度皆さん位の正雄さんがゐますので、鉛筆とクレヨンのおみやげを持つて行つてあげましたら、大喜びで家中をとびまはつてゐました。

皆さんもおばさんの家へ遊びに行つたこともありませう。又お家へお客様がいらつしやつたこともあるでせう。今日は皆さんと一所にお客様遊びをいたしませうと言へば、あうれしいくと胸に手をあて、大喜びする。

## (3) 遊びの計畫と指導

(一) 家族のグループ編制……五六人づつ一組になつて、一つの家を作りませう。一組になる人達は手をつないでこ

らんなさい。(この時餘り組む相手を好き嫌を言つたり、人をのけものにしたりする様なことがあつてはならぬ、共同生活、社會生活をするには、共同精神が必要であること、を體得させねばならぬ) 一郎君はお父さんになりますか、公子さんはお母さんになりなされるの、

洋子さんは……あゝ姉さんですか、そして季子さんが妹さんに……先生私は女中さんになります……先生玄關に名前を書いてよくわかる様に致しませう。中々よい思ひ付きです、ね、門札を作りませう。(一グループの表を示せば)

一	郎	……	……	オ	父	サ	ン
公	子	……	……	オ	母	サ	ン
不	二	雄	……	ニ	イ	サ	ン
洋	子	……	……	ネ	エ	サ	ン
日	出	夫	……	オ	ト	ウ	ト
季	子	……	……	女	中	サ	ン

各グループ共に右の様な表を作り、よくわかる様にす。これは招待状を出す時にも都合がよい。児童より發言

されない時には暗示を與へて、相談的に教師の方から問題を出すのがよい。

(二) 共同製作……役割が決定すれば、お客を招待するための準備にうつる。必要な品物を製作する相談をさせる。

お客様をおよびするにはどうしたらよろしいでせう。先づ御馳走は何にいたしませう。一郎さんのお家では何にしようと思ひますか。

御馳走の他にまだ作るものがありませう。作るものの名を書いて誰が何を作るかを決めてから、お仕事に取りかかりなさい。

	ツクルモノ		ツクルヒト
1.	オチャトユノミ	……	女 中 サ ン
2.	オクワシ	……	ネ エ サ ン
3.	カシキ、ボン	……	オ ト ウ サ ン
4.	クダモノ	……	オ ト ウ ト
5.	オミヤゲ	……	ニ イ サ ン

一つの作業を行ふにも計畫を立て一組がよく相談し連絡し、完全に遂行する爲に計畫表を作つて實行にうつる様にする。

### 製作の指導。

製作する材料は主として畫紙を使用する。菓子は畫紙で、圓柱形に巻いた形のもの、或は四角形等にし、色紙を張つて、ケーキの様にしたのや、色紙を折つたもの、その外、單に色紙を切つたものを種々に作る。菓子を入れるものは、正方形、長方形の畫紙の四隅を切り、浅い箱の蓋の如きものや或は圓形に切り、三四ヶ所一纏位切り込んで、少し合せて張りつけ皿を作る。玩具の皿があればそれを利用するもよい。果物は粘土を使用してもよいが、畫紙に繪をかきクレオンで色どりして切抜かせる方がよい。

其他木の葉や木の實を利用したり、竹の笹で作つたりするもよい。

おみやげもお客に來た人が歸る時に渡すもの、お客になつて行く時持つて行く物などを考へてもよい。これも畫紙で小さい箱を作り、中に色々の品を入れ、玉手箱の様にし

ておく。

(注意一) これは一例で兒童の創作を重ずることが大切である。

(注意二) 仕事は分擔するも早く出來上つた者は他のお手傳をすることは勿論である。

準備が大體終れば次の行動にうつる。

(三) お遊の場所へ……お天氣がよいから、お外でお遊び致しませう。(教室にても可なれど差支へのない限りなるべく屋外で遊ばせたい) ところがよいでせう。本校の門へ行きませんか、(本校の表門の傍は小高い處や木の蔭があつて子供の遊び場所として唯一の處である) そうさう先生本校がよいですね。それではみんな本校へ行くことにしませう。筵(疊表)を各組一枚づつと、お道具(クレオン、エンプツ、畫紙等)もみんな持つて行きませう。木の蔭の涼しい處もよいでせう。石段もよいでせうし、クローバーの上もよいでせう。けれども坂になつてゐるところ(傾斜面)はお客様が坐りなされるのに都合が悪いから止した方がよろし。

(四) お手紙(招待状)……お仕度が全部すみましたら、お客様に来て戴く様にお手紙をお出しなさい。先生も孝之君のお家の仲間になりますから、お手紙を下さいよ。

「ケフハ ヒロ子サンノ オタンジョウ日デス カラ

ミナサン デ アソビニ キテ下サイ オマチシテ

キマス」 カホル

「ケフハ ボク ノ タンジョウ日 デ オイワイノ

クワイ ラ イタシマス。オモシロイ オハナシヤ、

オアソビヲ シタイト オモヒマス。ミナサン ソロ

ツテ アソビニ キテ下サイ」 勝己ヨリ

ミナサンへ

こうしたお招きの手紙を出し、一方お招きを受けたならば、その手紙を持つて、お客さまになつて行く、家が留守になつてしまはない様に、更代しては、行く。

(五) お遊び……いよゝ遊びを始めたなら教師もお客の一員となつて、遊びに行く、數ヶの組に行つては、挨拶をし行儀作法の模範を示すのである。

教「ご免下さる」

兒一「いらつしやい」

兒二「どうぞお上り下さい」

教「はい、それでは上らしていただきます」

教「今日はヒロ子さんのお誕生日ださうで、おめでたう

ございます」

兒「お菓子をあがつて下さる」

教「有難たうございます。まあ美味さうな菓子ですね。

それでは戴きます」

こんな風に教師も共に遊び、兒童相互にも遊びが行はれる。

(六) 遊戯への發展……お客と面白い話をするのもよろしい、正月頃なればカルタ遊び、双六遊びもあるであらう。が又お客様と鬼ごつこしたり、お手々つないで、等をして遊ぶのも面白いのである。

一組が筵の上で「お手々つないで」と唱ひながら、はじめ出した。單調に流れる恐れがあるので、他の組にも、こちらでもやませう、といふ工合に轉換を促す。

先生私達は「猫々子猫」をやりませうといふ。この遊び

は一人が猫になり中央に、しやがんでゐる、他は圓陣を作つて、手をつなぐ今一人鼠になる人が圓陣の外にゐる、次の歌を歌ひながら、手をつないでぐるぐ廻る、歌が終ると猫が飛び出して、鼠を捕まへる遊びである、猫、鼠になる人は交代しては行ふ。

猫、猫、子猫、名はおしづ

お静や お静、静かに行つて

鼠と鼠をラララララ、、、、(この時猫がとび出す)

何度もやつてゐる間に幾組かに分れてゐた者が一人來二人來、しばらくはお客であつたのを、忘れたかの如く、三十人全體が一組になつてしまふ。

「二三回すむと又「お手々つないで」をみんな一所にやりませう、と希望が出る、其の他「櫻々やよいの空は見渡す限り……」等それからそれへと、表情遊戯が發展する。こうした表情遊戯は、幼稚園教育を受けてゐる児童が多い關係、自發的に喜んで遊ばれるのである。

#### (4) 遊び後の指導

面白く遊ばれた學校生活の有様「お客遊び」の事をお母さんにお知らせする爲に、文を綴つたり、遊んでゐた時の繪をかいたり、又自分達のお客遊びの模様を小學國語讀本卷二にある「オキヤクアソビ」の文を参照して記述するといふ様に、遊びより發展し知識方面の指導が行はれるのである。

紹介が後になりましたが、以上の「生活全體教育の低學年教育」は、全く従來の小學校の型を離れた教育法であります。教育改造の聲高い中にも、初等教育を教科中心主義から兒童の生活にかへせとは、強く呼ばれて居る問題であります。東京女子高等師範學校附屬小學校では、この刷新的な低學年教育法を卒先、研究實施して居られるのでありまして、今や同教育法は全國低學年界の注目を集め研究の機運に到らせた様子であります。

幼稚園と直接な關係にある低學年教育の生活化は、生活主義を以て本領とする幼稚園側としても、大いによるこぼしい事と、こゝに其の全貌を紹介することに致しました。(編者)